

2022 年 4 月 19 日 (火)

ひたちなか市民球場

13 時 45 分 ~ 16 時 34 分

## 第44回JABA日立市長杯選抜野球大会

予選リーグ  
3回戦

VS

日本通運

【イニングスコア】	四死球数	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3
	安打数	3	1	1	2	2	1	1	0	0	11
明治安田生命		2	0	1	0	0	0	1	0	0	4
チーム名		1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
日本通運		1	3	0	0	0	0	0	0	1×	5
	安打数	1	4	1	1	0	0	0	0	1	8
	四死球数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1

【バッテリー・長打】

明治安田生命

日本通運

投手	大久保、石毛、三宮、中崎●	投手	和田、西村、中田、古田島○
捕手	森川、道端	捕手	高野貴
二塁打	羽根	二塁打	諸見里
三塁打		三塁打	
本塁打	羽根(3回ソロ)	本塁打	稲垣(1回ソロ)、毛利(9回ソロ)

【野手個人成績】

打順	守備位置	選手名	所属	イニング									打席	打数	安打	公式観 通算打率
				1	2	3	4	5	6	7	8	9				
1	(3)	福岡	所沢支社	中安	中飛		左安		投安		遊ゴロ		5	5	3	.220
2	(4)	金子	所沢支社	左安	左飛		右直		遊ゴロ		右飛		5	5	1	.105
3	(6)	高瀬	総合法人第四部	投権打		一ゴロ		左安		四球	敵失		5	3	1	.382
4	(7)9	羽根	品川支社	右安①		左本①		右飛		右2		空三振	5	5	3	.326
5	(5)	伊藤	浦和支社	空三振		三ゴロ		中安		四球		見三振	5	4	1	.320
6	(9)	泉澤	八王子支社	左飛		遊飛		空三振		・		・	3	3	0	.200
7		永廣	町田支社	・		・		・		遊直		遊ゴロ	2	2	0	.091
7	(2)	森川	町田支社		敵失		二飛	空三振		・			3	3	0	.235
H		森	総合法人第五部		・		・	・		四球①			1	0	0	.000
R		橋内	上野支社		・		・	・		・			0	0	0	.000
2		道端	東京第二マーケット開発部		・		・	・		・			0	0	0	.176
8	(DH)	岸本	総合法人第一部		中安		遊ゴロ		三ゴロ	・			3	3	1	.429
	HDH	小川	立川支社		・		・	・	左飛				1	1	0	.100
9	(8)	鈴木	丸の内支社		空三振		左安		一ゴロ	遊邪飛			4	4	1	.267
チーム合計												42	38	11		

【投手個人成績】

登板順	選手名	所属	勝敗	投球回	球数	打者	被安打	与四死球	奪三振	失点	自責点	公式観 通算 防御率
先発	大久保	業務部業務G		12/3	48	11	6	2	1	4	4	7.20
2番手	石毛	丸の内支社		31/3	45	12	1	0	4	0	0	3.68
3番手	三宮	新横浜支社		3	39	9	1	0	2	0	0	1.06
4番手	中崎	東京第一マーケット開発部	負	1/3	9	2	0	0	3	1	1	1.04
チーム合計				81/3	141	34	8	1	4	5	5	

【試合詳細】

終盤に追いつくも、最終回に本塁打を打たれ、サヨナラ負けを喫した。

【1回表】先頭の福岡、金子の連続ヒットと高瀬の権打で1アウトランナー1・2塁とすると、羽根のタイムリーヒットに相手の失策が絡み2点を先制する。

【1回裏】先発の大久保は1アウトからソロ本塁打を浴び、1点を返される。

【2回裏】1アウトから2塁打でランナー2塁とされると、後続にタイムリーヒットを浴び、さらにヒットと四球でランナー満塁とされると、権飛とタイムリーヒットで計3点を失う。ここで2番手の石毛に継投し後続は無失点に抑える。

【3回表】1アウトから羽根のソロ本塁打で1点を返す。

【7回表】先頭の高瀬の四球、羽根の2塁打、伊藤の四球でノーアウトランナー満塁とすると、永廣は凡退するも代打森が押し出し四球を選び同点に追いつく。チャンスは続くもここで3番手投手に継投され、代打小川と鈴木は打ち取られる。

【9回裏】この回から登板の4番手の中崎が1アウトから相手代打にサヨナラ本塁打を浴び、試合終了。

2022 年 4 月 18 日 (月)

日立市民運動公園野球場

8 時 47 分 ~ 11 時 49 分

## 第44回JABA日立市長杯選抜野球大会

予選リーグ  
2回戦

VS

## ジェイプロジェクト

【インングスコア】

四死球数

0 0 0 1 1 0 1 0 0 3

安打数

3 0 1 2 3 0 2 1 1 13

## 明治安田生命

2 0 0 0 4 0 1 0 0 7

チーム名

1 2 3 4 5 6 7 8 9 計

## ジェイプロジェクト

2 0 0 2 0 0 0 0 0 4

安打数

3 2 1 1 0 0 1 0 0 8

四死球数

1 0 1 0 0 0 0 0 0 2

【バッテリー・長打】

## 明治安田生命

## ジェイプロジェクト

投手	小玉、小林○、石毛、中崎	投手	古屋●、塩本、三木、保坂
捕手	道端、岸本	捕手	松坂
二塁打	福岡	二塁打	松本
三塁打	木田	三塁打	
本塁打		本塁打	住(4回2ラン)

【野手個人成績】

打順	守備位置	選手名	所属	インング									打席	打数	安打	公式戦 通算打率		
				1	2	3	4	5	6	7	8	9						
1	(9)	泉 澤	八王子支社	中安		中安	空三振		空三振		空三振				5	5	2	.219
2	(4)	新 城	東京第二マーケット開発部	投ゴロ		一ゴロ		敵失		・					3	3	0	.360
	H4	金 子	所沢支社	・		・		・	空三振		中安				2	2	1	.071
3	(6)	高 瀬	総合法人第四部	右安①		見三振		中飛	三ゴロ		一飛				5	5	1	.387
4	(3)	福 岡	所沢支社	空三振		中飛		右2①		空三振	一ゴロ				5	5	1	.167
5	(2)	道 端	東京第二マーケット開発部	中安①			空三振	・							2	2	1	.176
	2	岸 本	総合法人第一部	・			・	中安①		死球	左安				3	2	2	.500
6	(DH)	羽 根	品川支社	見三振			中安	空三振							3	3	1	.289
	HDH	小 川	立川支社	・			・	・		右安	右飛				2	2	1	.105
7	(7)	永 廣	町田支社		遊ゴロ		左安	四球		空三振	三ゴロ				5	4	1	.111
8	(5)	木 田	川崎支社		見三振		左飛	右3②							3	3	1	.290
	5	伊 藤	浦和支社		・		・	・		中安①	二邪飛				2	2	1	.333
9	(8)	井 村	武蔵野支社		二邪飛		四球	一直							3	2	0	.368
	H8	鈴 木	丸の内支社		・		・	・		二飛					1	1	0	.273
													チーム合計	44	41	13		

【投手個人成績】

登板順	選手名	所属	勝敗	投球回	球数	打者	被安打	与四死球	奪三振	失点	自責点	公式戦通算 防御率
先発	小 玉	新宿支社		3	61	16	6	2	1	2	2	4.15
2番手	小 林	東京第一マーケット開発部	勝	3	31	11	1	0	4	2	1	2.70
3番手	石 毛	丸の内支社		2	38	7	1	0	2	0	0	0.00
4番手	中 崎	東京第一マーケット開発部		1	15	3	0	0	3	0	0	0.00
				チーム合計	9	145	37	8	2	10	4	3

【試合詳細】

打撃陣が13安打と奮起し、逆転勝ちを収めた。

【1回表】先頭の泉澤がヒットで出塁し、新城は犠打を失敗するも盗塁を決め1アウトランナー2塁とすると、高瀬のタイムリーヒットで1点先制、さらに高瀬が盗塁で2塁に進み、続く道端がタイムリーヒットを放ち、この回計2点を先制する。

【1回裏】先発の小玉は2本のヒットなどで1アウトランナー1・3塁とされると、後続にタイムリーヒットと犠飛を許し2点を失い、同点にされる。

【4回裏】この回から登板の2番手の小林は1アウトから木田の失策で出塁を許すと、後続に2ラン本塁打を浴び、2点勝ち越される。

【4回表】1アウトから泉澤の四球と道端の犠打で2アウトランナー2塁とすると、木田のタイムリー2塁打で再び同点に追いつく。

【5回表】先頭の新城が相手のエラーで出塁すると、福岡のタイムリー2塁打、続く岸本のタイムリーヒット、永廣の四球をはさんで、木田のタイムリー3塁打でこの回計4点で逆転に成功する。

【7回表】1アウトから岸本の死球と代打小川のヒットなどで2アウトランナー1・2塁とすると、代打伊藤のタイムリーヒットで1点を追加する。

【9回裏】この回から登板の4番手の中崎が三者連続三振に抑え、試合終了。

2022 年 4 月 17 日 (日)

日立製作所野球場

8 時 59 分 ~ 11 時 31 分

## 第4回JABA日立市長杯選抜野球大会

予選リーグ  
1回戦

VS

日本生命

【インニングスコア】

四死球数  
安打数

0	0	0	1	0	0	0	1		2
1	1	2	2	1	0	1	0		8
0	0	1	1	1	0	0	0		3
1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
0	1	1	0	1	0	3	5		11
0	1	3	1	2	1	4	4		16
0	1	0	0	1	0	0	1		3

【バッテリー・長打】

明治安田生命

日本生命

投手	三宮、大久保●、森井、北濱、新井	投手	吉高、高橋、山本○
捕手	道端	捕手	立松
二塁打	木田(4回、7回)	二塁打	
三塁打		三塁打	
本塁打	新城(5回ソロ)	本塁打	上西(7回ソロ、8回2ラン)、越智(8回3ラン)

【野手個人成績】

打順	守備位置	選手名	所属	インニング									打席	打数	安打	公式戦 通算打率	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9					
1	(9)	泉 澤	八王子支社	三ゴロ		右安		右飛		空三振				4	4	1	.185
2	(4)	新 城	東京第二マーケット開発部	三安		左犠飛①		右本①		一ゴロ				4	3	2	.409
3	(3)	福 岡	所沢支社	一ゴロ		左飛		左飛				遊ゴロ		4	4	0	.161
4	(7)	羽 根	品川支社	右飛		遊ゴロ		空三振				見三振		4	4	0	.286
7		永 廣	町田支社	.		.		.				.		0	0	0	.000
5	(DH)	小 川	立川支社		空三振		二ゴロ		.			.		2	2	0	.059
	HDH	森	総合法人第五部		.		.		遊ゴロ			四球		2	1	0	.000
	RDH	鈴 木	丸の内支社		.		.		.			.		0	0	0	.300
6	(6)	高 瀬	総合法人第四部		二ゴロ		四球		一ゴロ			二飛		4	3	0	.423
7	(2)	道 端	東京第二マーケット開発部		右安		投犠打		二ゴロ					3	2	1	.133
8	(5)	木 田	川崎支社		二ゴロ		左2①				左2			3	3	2	.286
9	(8)	井 村	武蔵野支社			左安	右安				見三振			3	3	2	.412
チーム合計												33	29	8			

【投手個人成績】

登板順	選手名	所属	勝敗	投球回	球数	打者	被安打	与四死球	奪三振	失点	自責点	公式戦通算 防御率
先発	三 宮	新横浜支社		5	82	23	7	2	3	3	2	1.29
2番手	大 久 保	業務部業務G	負	1 1/3	36	9	4	0	1	3	3	4.32
3番手	森 井	新宿支社		2/3	3	2	1	0	0	0	0	0.00
4番手	北 濱	総合法人第三部		2/3	24	6	3	1	1	4	4	3.60
5番手	新 井	品川支社		0/3	2	1	1	0	0	1	1	9.00
チーム合計				7 2/3	147	41	16	3	5	11	10	

【試合詳細】

中盤まで競い合う展開だったが、終盤に突き放されコールド負けを喫した。

【2回裏】先発の三宮は先頭に四球を与え、後続のヒットに福岡のエラーが絡みノーアウトランナー2・3塁とされると、内野ゴロの間に1点を先制される。

【3回表】先頭の井村と泉澤の連続ヒットでノーアウトランナー1・3塁とすると、新城の犠飛で同点に追いつく。

【3回裏】2本のヒットなどで2アウトランナー1・3塁とされると、後続にタイムリーヒットを浴び1点を勝ち越される。

【4回表】1アウトから泉澤と道端の犠打で2アウトランナー2塁とすると、木田のタイムリー2塁打で再び同点に追いつく。

【5回表】1アウトから新城のソロ本塁打で1点勝ち越す。

【5回裏】先頭のヒットと四球などで2アウトランナー2・3塁とされると、後続にタイムリーヒットを浴び同点に追いつかれる。

【7回裏】2番手の大久保は先頭にソロ本塁打を浴び、さらに連打と自らの野選などで1アウトランナー満塁とされたところで3番手の森井に継投、森井も後続にタイムリーヒットを浴び、この回計3点勝ち越しを許す。

【8回裏】4番手の北濱は先頭に四球を与えると、後続に2ラン本塁打を浴び2点を追加される。さらに後続に連打を許し、2アウトランナー1・2塁の場面で5番手の新井に継投するも相手の代打に3ラン本塁打を浴び、この回計5点を追加される。大会規定によりコールドゲームが成立し試合終了。